

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品…定率法による減価償却を実施している。

(2) 引当の計上基準について

退職給与引当金…理事会において決定された金額を計上している。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金預金、未収入金、有価証券、仮払金、立替金、前払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めることにしている。

尚、前期末及び当期末残高は次に記載のとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	30,235,697	31,339,886
未収入金	1,219,300	1,230,532
立替金	526,428	0
前払金	344,196	344,196
合 計	32,325,621	32,914,614
前受金	11,967,000	11,928,000
預り金	233,141	227,837
未払金	57,130	1,202,317
合 計	12,257,271	13,358,154
次期繰越収支差額	20,068,350	19,556,460